

平成 26 年 11 月 4 日

各 位

雪印メグミルク株式会社
代表取締役社長 中野吉晴

平成 27 年 3 月期第 2 四半期 決算短信発表にあたり

当期におけるわが国経済は、緩やかな景気回復基調が継続しました。個人消費は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動も徐々に緩和し、持ち直しの動きが続いているものの、後半は天候の影響等もあり足踏みの状態にあります。食品業界においては、高付加価値商品に注目が集まる一方、依然として低価格志向も継続しており、価格帯の二極化が見られます。

このような経営環境の中、「雪印メグミルクグループ中期経営計画（平成26年度～平成28年度）」に基づき、環境変化への対応と経営基盤の強化に取り組みました。ドリンクヨーグルトをはじめとする新商品の拡売とブランド強化の取組みを行なうとともに、事業構造改革の取組みとしてプロダクトミックスの改善や、昨年度下期以降に発生した輸入原材料価格の高騰をはじめとするコストアップへの対応策の実現に取り組みました。また、戦略設備投資を行なった阿見工場は、厚木マーガリン工場や横浜チーズ工場、関西チーズ工場からの生産機能の移管を完了し、11月下旬には全生産ラインが本格稼動する予定です。

その結果、上期の連結売上高は、2,768億円（前期比100.4%）、連結営業利益は51億円（前期比75.1%）となりました。天候不順や昨年度下期からのコストアップの影響があったものの、収益改善に取り組み、営業利益は前年対比では減益となりましたが、業績予想を上回りました。

厳しい経営環境は、継続しておりますが、環境の変化を踏まえて、引き続き、徹底して構造改革に取り組み、持続的成長を可能とする収益基盤を構築してまいります。

また、役職員一同、引き続き、コンプライアンスと品質管理の徹底を図り、CSR経営を積極的に推進してまいります。

今後とも、これまでと変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以 上